

戦争の悲しみを胸に恒久平和を願い

～平成25年度東通村戦没者追悼式～

9月24日、戦没者慰霊碑前において、平成25年度東通村戦没者追悼式が行なわれました。

はじめに、参列者全員で戦没者に対する黙祷が行なわれた後、戦没者慰霊碑を前に、越善靖夫村長より追悼のことばが述べられました。

続いて、来賓を代表して小笠原清春村議会議長、また、遺族を代表して小林義明遺族会長より追悼のことばが述べられ、参列者全員により200余柱の英霊に対し、献花が捧げられました。

戦争によって肉親を失った遺族の方々の心には、消えることのない深い傷跡が残っています。戦後に生きる我々は、戦争の悲惨さやもたらされた悲しみを忘れることなく、平和が恒久的なものとなるよう努力し続けなければなりません。



参列者の皆さんにより献花が捧げられました

とどけ希望の灯（ひかり）

～東通ライオンズクラブ結成25周年記念大会式典～

10月6日、東通村体育館において、「とどけ希望の灯（ひかり）」のアクティビティスローガンのもと東通ライオンズクラブ（三國智紘会長）結成25周年記念大会式典が行われました。

式典では、三國会長が「私たちは平成元年6月10日の結成以来、25年間『We Serve（我々は奉仕する）』のモットーのもと、地域社会への奉仕活動が続けて参りました。このたびの25周年という大きな節目を機会に、これからも奉仕の灯を輝かせて参ります」と挨拶があり、越善靖夫村長、小笠原義見都地区ガバナー、川端拓二むつライオンズクラブ会長から祝辞が述べられました。



三國会長による挨拶

また、結成25周年記念事業として、村を通して東通中学校吹奏楽部に楽器購入援助費を寄贈しており、同吹奏楽部からコンクールで演奏した「雪月花」が披露されました。

このたびの結成25周年おめでとうございます。また、同会の奉仕活動に改めて感謝いたします。



東通中学校吹奏楽部より「雪月花」が披露されました